

かかりつけ医

「いる」56% 高い満足度

家庭医のようない、「いつでも相談にのってくれるかかりつけ医」が「いる」人は56%と半数を超え、「いない」人の42%を上回った。00年9月と80年の調査ではともに、いる人が51%、いない人は48%とほぼ並んでいた。

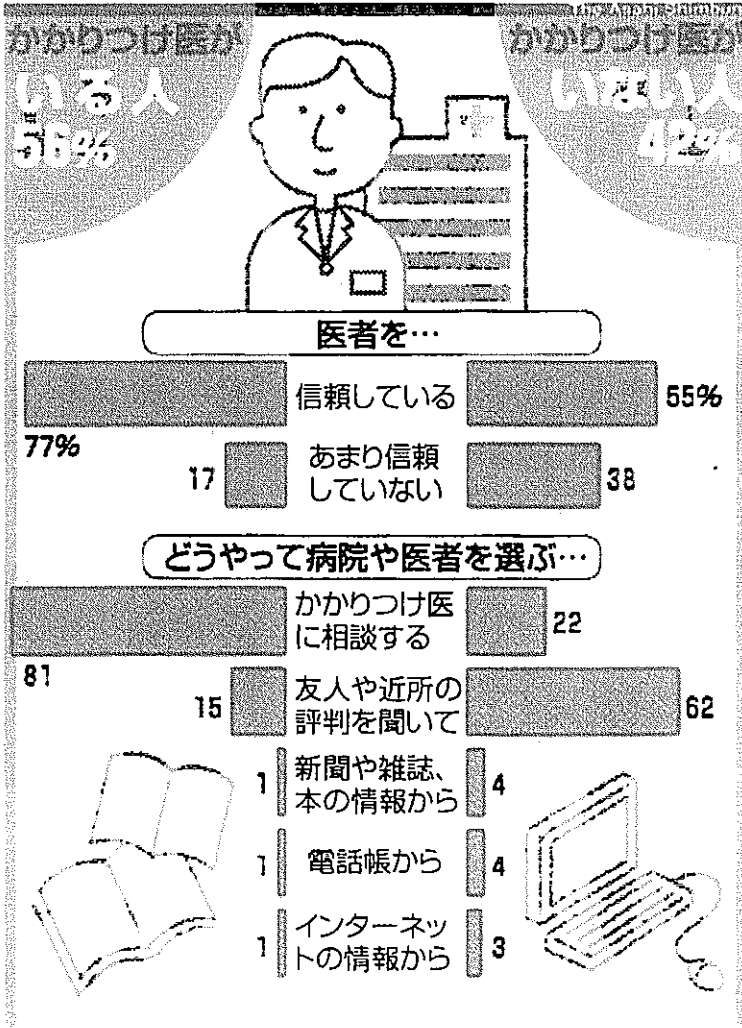
年齢が高くなると「いる」人の割合が増える。60代で7割近く、70歳以上だと8割に達した。また女性は6割で、男性の5割よりも多かった。

2年前に介護保険制度が導入され、要介護認定にかかりつけ医らの役割が重要になった。各地の医師会が普及に力を入れていることも背景にありそうだ。

かかりつけ医がいる人は、医師を「信頼している」が77%と全体の66%より高く、医療への満足度も82%（全体76%）ある。医師が「十分な説明をしている」と思う人は61%で、かかりつけ医がいない人の40%よりかなり高い。かかりつけ医が、医師への信頼や医療への満足度を増す要因の一つのようだ。

自分や家族が病気になったら、どうやって病院や医師を選ぼうと思うかを聞くと「かかりつけ医に相談する」が全体で56%と最も多い。当然ながらかかりつけ医がいる人では8割に達し、「友人や近所の評判を聞いて」は15%にすぎない。

かかりつけ医がいる人



「友人や近所の評判」で選んでいる。「かかりつけ医に相談する」も2割いた。いつでも気軽に相談できる関係まではいかなくても、近くの診療所などの医師が想定されているようだ。

いない人でインターネットの情報を利用すると答えた人は3%。各地で医師会のホームページが広がり、新聞や雑誌（4%）、電話帳の利用（4%）に迫っている。